

全ての闘い「安全、安定輸送確立」 「仕事・安全総点検運動」

健全な
労使関係

エルダー
問題



を組織・強化拡大へ!

—国労東日本第23回定期大会開催—

大会は、松井副委員長
の挨拶で始まり、資格審
査委員会の報告を受け大
会成立宣言。議事運営委
員会の発足から議長団の
選出に入り、議長には大
橋代議員（東京・大宮）、
副議長には滝口代議員
（東京・神奈川）を選出
しました。
議事に先立ち挨拶した
伊藤委員長は「他労組の
動向に一喜一憂すること
なく、職場を原点に組
織拡大に向け取り組み
を！」【別掲】と訴えま
した。来賓は、関東交運
労協・元呑議長、全交運
共済東日本事業本部・宮
坂本部長を順次紹介しご
挨拶をいただきました。
弁護団からは、国労東日
本弁護団の、福田・海渡
両顧問弁護士より報告を
受けました。
議事は大会延期承認、
選挙管理委員会の設置、
経過報告と2009年度
運動方針（案）を高野書
記長が一括提案、その後、
協約・協定の締結につい

国労東日本本部は、9月23～24日に第23回定期大会を埼玉県・さいたま市で開催し、この1年間の総括から当面する運動方針を確立、高野新執行委員長をはじめ新体制を選出しました。以下、今号は大会特集号とします。

て山根執行委員が提案し
代議員の拍手で承認、前
年度決算・会計監査の報
告についても代議員の拍
手で承認されました。
続いて2009年度予
算（案）の提案から、経
過に対する質疑【別掲】
に入り、11名の代議員発
言、執行部答弁により全
体の拍手にて承認されま
した。
大会1日目の最後は、機
関紙表彰と組織拡大標語
【各受賞者は別掲】の表彰
を行い休会に入りました。
2日目は、運動方針
（案）に対する討論から
再開し、冒頭、青年部の
阿部常任委員よりの特別
発言、途中、東京闘争団・
松本副団長の特別発言を
含め22名の真摯な発言
があり、それを踏まえ高



(組合員の購読料は)
組合費に含まれます)

港区新橋5-15-5
交通ビル
国労東日本本部
発行責任者 高野苗実
編集責任者 伊藤隆夫

No. 689 定価
20円

2009年
10月 21日

国労東日本本部 第23回定期大会 特集号

野書記長が集約【別掲】、
し、選挙管理委員会より
東日本委員報告、役員
の団結ガンバローで第
23回大会は全日程終了し
ました。

午後9時の議事は、200
9年度予算（案）に対す
る質疑、承認から再開
択で議事日程を終了し、
ました。

午後9時の議事は、200
9年度予算（案）に対す
る質疑、承認から再開
択で議事日程を終了し、
ました。

第一の課題は国労の最大の課題である「二〇四七
名不採用問題」についてです。

私たちは、今日まで作り上げてきたスタンスを変
えることなく政治解決に向け邁進すること事が重
要です。

総選挙結果を受け、引き続き「解決の年」とする
ため政治対策の強化に全力を上げ、横浜人活採用差
別訴訟を勝利し、国労採用差別訴訟勝利への道を切
り開き取り組みを強めなければなりません。

第二の課題は安全・安定輸送の確立についてです。

JR東日本会社で働く社員の最大の集中課題は、
「安全・安定」輸送の確立です。

職場での課題は多くあり、事故発生時の「インシデ
ント（潜在的事例）」を発見・取り除く技術力の維持
向上に向けた取り組みが最重要課題と考えています。
安全を含めたコンプライアンス軽視のツケは大
きく、今後、JR東日本会社は信濃川発電所運転再
開に向け大変な努力を払わなければなりません。

「安全・安定輸送、利用者へのサービス、コンプ
ライアンス遵守」は社会的責任であり、鉄道事業を
営むうえでの根幹です。

引き続き、JR東日本会社・JR貨物関東支社と
の「健全な労使関係」の確立を図り、「安全・安定」
を代表しての挨拶とします。

野書記長が集約【別掲】、
し、選挙管理委員会より
東日本委員報告、役員
の団結ガンバローで第
23回大会は全日程終了し
ました。

午後9時の議事は、200
9年度予算（案）に対す
る質疑、承認から再開
択で議事日程を終了し、
ました。



伊藤 秀樹
委員長あいさつ

国労運動前進に 奮闘する

第三の課題は「組織の強化・拡大」です。

仲間の加入は、新しい息吹と分会に活力を生み出し
ています。その影響は職場活動の活性化へと及び、引
き続く組織拡大に向け、分会役員は自信と確信を持つ
て運動に取り組んでいます。

この事は、JR東日本会社との「係争事件の和解」が、
単に事件の解決にとどまらず、JR東日本との労使関
係の改善や労務政策を変更させるとともに将来に向け
た大きな一歩を踏み出していると言えます。

国労東日本本部は、要求の多数派から組織の多数派
への展望を持って運動を進めています。そして、それ
を実践する職場力があると確信しています。

第四の課題はJR東日本会社の「健全な企業発展」
と「健全な労使関係」を求める取り組みについてです。

この間積み上げてきたJR東日本・貨物会社との「和
解の趣旨」を一層深度化し、「健全で正常な労使関係」
を築き上げ、組合員が職場で不平等を感じることをな
い職場創りに向け、昇進事件和解で確認された事項の
検証と履行を求める継続的取り組みが不可欠です。

そのために、「胸襟を開いて」会社と向き合い、「主
張すべきは主張」する姿勢を職場から議論を創り上げ
る意思統一と実践が求められています。

更なる国労運動前進に向け国労東日本本部執行部は
その先頭に立って奮闘する決意を申し上げ執行委員会
を代表しての挨拶とします。

野書記長が集約【別掲】、
し、選挙管理委員会より
東日本委員報告、役員
の団結ガンバローで第
23回大会は全日程終了し
ました。

午後9時の議事は、200
9年度予算（案）に対す
る質疑、承認から再開
択で議事日程を終了し、
ました。

経過討論 組織と運動を活性化させよう!

★発言者

藤澤（東京神奈川）・佐藤（秋田）・宇塚（東京大宮）・結城（仙台）佐々木（盛岡）・岸（高崎）・後藤（東京八王子）・木村（千葉）小嶋（東京新橋）・吉田（高崎）・井村（千葉）

*グループ会社の再編 交渉を!

から6か月、問題の解決のための環境アクセスの窓口はどうなっているのか?今後の指導を!

*各テレフォンセンタ―と営業職場の交流から問題点・改善点の要求を!さらに、今後のテレセの在り方を含め申し入れ・

経過討論 職場の課題は山積み、一つ一つ具体的に解決しよう!

エルダー社員制度の問題について、すでに申し入れも行っている。ご指摘を頂いた問題については今後改善に向けて検討に入りたい。

「アクセス」などのグループ会社における分会結成と要求改善の問題についても、関係地方・地区本部と検討してきたが、当面グループ内に分会を結成していくことを基本としつつ、「アクセス」については清掃関係を先行させたい。駅関係は分会運営の観点など検討し、地方ごとのアンバランスを生じることも承知しつつ順次結成していきたい。

また、「環境アクセス」に関する問題についてはは要求を集約し会社に提出するとともに改善状況を見守りながらその後の対応も検討したい。

昇進試験の問題については、3点セットの問題を含めた検証ためには全体的な調査が必要となる、大会後各地方と相談する。

運動無事故表彰については、関係地方から6か月、問題の解決のための環境アクセスの窓口はどうなっているのか?今後の指導を!

*各テレフォンセンタ―と営業職場の交流から問題点・改善点の要求を!さらに、今後のテレセの在り方を含め申し入れ・

*出向先で分会を創った場合出向先会社との交渉は?

*運転無事故表彰に関して期間のカウントミスなどが発生している、早急な対応を!

*貨物のJRカード廃止に対して創意工夫した

新青森駅開業、並行在来線の存続問題など、これから具体的にやる中で、関係する地方本部・本部と相談し対応を図りたい。

輸送障害や業務区分の関係などについては施策検証委員会の中で具体的な要求の整理を図りながら取り組みを進めたい。

新型インフルエンザに対する職場対策については、今各地方調査に入っている。また、勤務の扱いについても、その中で申し入れを行いたい。

あっせん申請の問題で、現場長の組合員の範囲については、交渉の中で対立となっている。これまでの考えを踏襲しながら取り組みたい。

ストライキの関係については、本部の戦術委員会に反映させながら扱っていききたい。

信濃川発電所問題については会社の信頼を失墜しかねない問題であり、交渉も決まっているので、その中で取り扱いたい。

様々な取り組みをしてきた。春闘と結合しストライキの闘いを!

*来年12月予定の東北新幹線新青森開業に伴う並行在来線問題では、差別のないように支社指導と、配転・職種転換に

関係しても本人希望の尊重を!

*規制緩和により職場は事故ざりざりで働いて

方針討論

★発言者

青年部阿部常任(特別発言)・押上(東京新橋)・西尾(東京神奈川)・粕尾(長野)・秋山(仙台)・赤沼(水戸)・渡辺(仙台)・小澤(東京神奈川)・関口(高崎)・武田(東京八王子)・闘争団松本(特別発言)・安濃(東京新橋)・戸田(盛岡)・田澤(新潟)・五十嵐(仙台)・吉澤(長野)・佐倉(千葉)・坂本(水戸)・大房(東京大井工場)・小池(東京新橋)・山田(東京新橋)・小林(盛岡)

いる。規制緩和の法改正に向け国労としての運動を!

*試験結果の検証について、提案・増収・小集団や時間外の会社主催の行事参加などの状況から見た可否の検証から格差

是正を!

*職能別協議会の交流会への具体的な補助を!

職場の問題、すぐに対応する国労に自信を持って!

握、要求集約から受託会社への交渉申し入れの強化を!加えて、諸手当に

関する改善を!

*エルダー社員の精動手当などについて問題がある就業規則改正含めて改善を!

*信濃川発電所問題、分会として問題点の要求、解明を掲げ交渉に臨みたい!

*新型インフルエンザ対策の周知が職場では遅れている。また、社員または家族がかかった場合の休暇の扱いは「障害」扱いにすべき!

*あっせん申請について、助役の非組合員化の目的をもって組織対策に当たる、という言葉がながいが総括、経過を!

不採用事件

横浜人活訴訟は12月22日判決、国労全体の取り組みになるように要請する。

各級機関の会議や集会などに闘争団を招き交流する機会を。「人道的立場に立つた解決」という到達点を生かし、三党連立政権や国交省、厚労省に対し解決を求め申し入れを!

国鉄闘争を知らない議員が増えたのだから丁寧に説明する必要がある。また大集会を開くことが必要だ。

正常な労使関係の構築

和解したものの合格率は

依然低く、社会人採用は、入社半年で100%合格している。

露骨な労務管理はなく

なっているが、仕事を知らず

国労が職名に関係なく都合いいように利用されている。

2回目の出向延長発令が出され粘り強く訴え続ける中でやっと復帰することが出来た。闘った結果である。

コンプライアンス・アクションプラン窓口に昇進基準を尋ねるなど会社のシステムを利用して訴えていくのも良い方法ではないか。

遠距離通勤の解消や出向戻りなどで小さな変化も出ている。職場での対話運動強化が必要なのではないか。

信濃川取水問題で、コンプライアンスやモラルハザードは企業だけの問題ではない、労働組合の問題でもある。

首都圏4支社が発した50人以上の労働安全衛生に関する通達を全支社へ広げ職場で実践することが課題になっている。

委託駅では異常時対応で時間的なロスが生じ、運転再開に支障が出る懸念が懸念されている。直営にすれば解決できることであり、定年延長と絡め要求を。

エルダー職場は休日数、労働時間がJRよりも悪い。60歳過ぎてやれる職場では

再雇用について

ないと言われている。出向先との交渉を！

○東労組はほぼ希望通り、国労は希望通りの人が少ない。公平・公正な取り扱いに！

○プロパー社員も含めて国労に組織し、要求実現に向け交渉を確立するために、分会結成の取り組みを。

○同じ仕事をして賃金や労働条件を切り下げられては

労働意欲が低下してしま

○出向先や労働条件が事前

○退職日によってラッ

キー・アンラッキーが生じ

年に達する日の翌年の7月

と整理すれば不公平感は薄

○設備メンテナンス合理化

○輸送指令の誤扱いによる

安全・安定
輸送確立等

輸送障害が多発。経験がな

○感電事故や障害事故が多

○相次ぐ変電所火災のほと



高野書記長集約

組織拡大に全力で取り組もう

一つとして、JR不採用問題の早期解決を実現する闘いについて。選挙の結果新しい議員が多く誕生していることからも、東日本本部として国会議員への要請行動について本部とも協議の上、取り組むこととする。あわせて、多くの成果を上げていく、意見書採択をはじめとした取り組み、闘争団を支援する生活援助金カンパ、物資販売、DLR基金、「連帯する会」などの取り組みを強化し、今後の裁判傍聴や大衆行動などの成功に向け、全力を挙げる。

二つに、安全・安定輸送、労働条件改善の取り組みについて。これまでの検証委員会での取り組みを踏まえ直ちに最終的な要求の確認を行い、申し入れ、交渉を取り組んでいく。

また、今後職場における技術継承、ゆとりある作業環境の確立に向けて、新規採用者の配属、必要人員の配置などを基本に取り組みを強める。

時間外労働の増加などについて、この間、私たちは標準人員の算出基準の見直しを求めてきたが、今後もこの取り組みについて引き続き強化をしていく。

もう一点は、安全・仕事総点検の取り組みについて、全職場での調査・点検を実施し、それを踏まえた各支社・本社段階での取り組みの意思統一など、各地方本部と具体的な取り組みについて相談していく。

三つに、2010年春闘について。本部、貨物協議会とも連携を図りながら、貨物会社における賃金の会社間格差の是正を求める取り組みについて、旅客・貨物組合員が一体となって全力で取り組みを進めていく。

また、「生活実態アンケート調査」による新賃金要求及び具体的な方針については、東日本本部委員会で議論・決定し、取り組みを進める。四つに、JR東日本・JR貨物の中労委

一括和解について。今後も各地方本部と連携を図り、是正・改善について取り組みを進める。

JR貨物の和解について、和解後の職場の状況の点検・調査などを取り組み、その改善の取り組みについて本部・貨物協議会と連携し、取り組みを進めていく。

最後に、組織強化・拡大について。組織強化・拡大はあらゆる取り組みの原動力であり、緊急かつ重要な課題。契約社員の組織化と待遇改善・正社員化については、今後も取り組みを進めていく。

この間の各分会・職場における取り組みなどについて、その成果に自信と展望を持ち、今後取り組みを進めていかなければならない。組織部長会議を適時開催し、組織の拡大に全力を挙げていく。

東日本本部の抱える課題は山積している。皆さんのご協力をいただき、東日本本部も全力で闘うことを申し上げ、集約にかえたい。大変ご苦労さまでした。

などはヒューマンエラー。

○技術継承と設備メンテナンス見直し交渉を行わなければならぬ。

○協力会社の死亡事故が後を絶たない。相次ぐ警告を受け非常事態宣言を出しても無くならないのは、国の規制緩和があり、協力会社への業務の丸投げ、下請け、孫請けの劣悪な労働実態によるものだ。関連会社に対する申し入れや交渉の場を作る必要がある。

○人も仕事もJRに戻すことを基本に取り組むことが重要になっている。

○検証委員会を設置しているが、改善にむけた具体的な

な取り組みが見えない。

○利益優先の体質が信濃川発電所問題や相次ぐ事故を引き起こしている。利用者の声を含め総点検運動を。

組織の強化
拡大について

○職場の問題を言えるかどうか国労と東労組の違い。その積み重ねが拡大につながっている。

○新採対策を取り組み、国労全体として取り組みを強化しなければならないという認識を共有化できた。

○他労組に加入していたが、歓迎会を開催、その後通年の取り組みとして説明会を開催し数名の人が参加してくれている。

○労組説明会を他労組にも呼びかけ実施した。そして昨年に続き新採加入を勝ち取る事が出来た。新採加入により分会活動に活力が出てきた。

○組対費は今の制度では先手を打てない。先行投資をする形で活用できるようにしてもらいたい。

○職場で問題が発生したときに国労はすぐに対応してくれる事に共感し、国労復帰をしてくれた。日頃の活動の大切さを感じている。

○混乱したときに脱退した仲間が、「脱退してもいつか近くについて話せるのは国労だった。」と復帰してくれた。

○機関紙の定期発行や職場集会の開催など、見える分会活動が国労復帰につながっている。地方としてそれらの活動を全体に広げるために交流会を実施。

貨物

○10年連続ベアゼロ。会社には経営者としての責任自覚がない。

○JRカードの廃止は転勤で自宅へ帰省するなど生活に大きな支障を及ぼしている。帰省旅費増などの取り組みが必要。

○新幹線の開業で、レール使用料や第三セクターへの補助など貨物会社の経営は圧迫されかねない。国労が一体となり国に働きかけが必要。○春闘ではストを配置して闘うことを要請する。



大橋議長・滝口副議長

組織拡大標語 入賞作品

評価	作 品	地本	氏名
最優秀	自分を信じ 仲間を信じ 国労へ!	仙台	鈴木 正隆
優秀	国労は待っています。あなたの思いと行動を!!	盛岡	菊池 要悦
優秀	ふみ出そう、「最後は国労」その一步!	長野	斉藤 義次
優秀	苦しい時も楽しい時も分かち合える国労で	長野	西沢 修一
優秀	勇気を持って国労へ、あなたの行動で未来は変わる!	秋田	小野 雄志

評価	作 品	地本	氏名
最優秀	今日も笑顔で 一声かけて 一人一人が 組織拡大	長野	北村 淳
優秀	つなぐ手を増やして強める団結の輪	長野	小幡 敏秀
優秀	一人の加入が組織の力、作ろう職場に拡大の輪	秋田	山本 文英
優秀	広めよう 熱き思いを 次世代へ	長野	樋口 博一
優秀	一人の力がみんなの力、元気を吸い込む組織拡大	秋田	山本 文英

高野委員長を先頭に



松井正義
書記長
企画部長



佐藤正幸
執行副委員長
財政部長



高野苗実
執行委員長



新執行部



武笠秀也
調査部長
教宣・業務担当



武田幸喜
組織部長
青年部担当



伊藤隆夫
教宣部長
業務担当



矢部雄一
法対部長
賃対部長



因泥 一
青年部長



木村忠義
特別執行委員
青年部対策



平田正男
特別執行委員
貨物担当



樋口孝重
組織担当
教宣担当



松本正吉
会計監査員



東平賢一
会計監査員



高橋亮一
会計監査員



佐々木久恵
婦人部長

組織拡大
労働条件改善
を
がんばります



機関紙表彰
おめでとう
がんばりました!

表彰内容	名称	発行 号数	地本	発行機関
最優秀表彰	分会ニュース	56	水戸	水戸貨物分会
最優秀表彰	ろばた	56	仙台	東北工事事務所分会
最優秀表彰	冊子		仙台	仙台総合車両所支部
最優秀表彰	支部日報	239	秋田	総合車両センター支部
最優秀表彰	郡工情報	51	仙台	郡山工場支部
最優秀表彰	分会かべしんぶん	135	東京	蒲田車掌区
最優秀表彰	連結器	51	東京	田町電車区
最優秀表彰	スクラム	59	長野	長野総合車両所支部
優秀表彰	伝言版	42	盛岡	盛岡駅連合分会
優秀表彰	分会通信	37	仙台	貨物分会
優秀表彰	国労水戸	43	水戸	水戸地本
優秀表彰	国鉄新潟	32	新潟	新潟地本
優秀表彰	団結	44	仙台	仙台総合車両所支部
優秀表彰	ガンバ組立	43	仙台	組立分会
優秀表彰	国労せんだい	30	仙台	仙台地本
優秀表彰	分会情報	30	仙台	郡山駅連合分会

ありがとうございました

来賓

関東交運労協 元 呑 勝 議長
 全国交運共済東日本事業本部 宮坂義久 本部長
 国労本部 高橋伸二 中央執行委員長
 東日本本部顧問弁護士 海渡雄一 弁護士
 東日本本部顧問弁護士 福田 護 弁護士

メッセージ

国鉄闘争支援中央共闘会議議長 中里忠仁
 国労北海道本部執行委員長 花井勝幸
 国労四国本部執行委員長 福崎勇二
 国労九州本部執行委員長 伊藤一之
 国労西日本本部執行委員長 田中 守
 株式会社印刷センター

退任役員 ごくろうさまでした



剣持英雄
第19回大会～
2期4年
会計監査員を歴任



古川数行
第17回大会～
3期6年
会計監査員を歴任



青柳義則
第21回大会～
1期2年
組織・教宣担当執行委員を歴任



山根主吉
第11回大会～
6期12年
法対・賃対部長を歴任



伊藤秀樹
第17回大会～
3期6年
書記長・委員長を歴任

スト権一票投票、役員選挙結果

スト権一票投票
賛成61票、反対0票

役員選挙（書記長選挙）
松井正義 47票 関口広行 10票 白票4票

医療の進化にあわせた、
アフラックのいちばん新しい
「がん保険」です。

生きる気持ちに、本気で応える
アフラックのがん保険

「生きる」を創る。
Affac

アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)
東京第二法人営業部
〒163-0456 新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル
Tel.03-3344-1459 Fax.03-3344-4036

■専業代理店
アベニール 株式会社
TEL 03-3437-6810
FAX 03-3437-6822
〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3F

資料請求いただいたお客様の個人情報の利用目的は、アフラックの各種商品やサービスの案内・提供・維持管理となります。
©詳しくは、「パンフレット(契約概要)」や「ご契約のしおり・約款」をご覧ください。 AF104-2008-0124 4月18日

東日本本部委員
定数19名

盛岡地本・小林良宏
 秋田地本・佐藤浩一
 仙田地本・結城好哲
 五十嵐 敬
 新潟地本・田澤忍
 高崎地本・岸三男
 水戸地本・赤沼廣行
 千葉地本・井村好博
 長野地本・粕尾彰
 東京地本・地口明世
 安濃敏雄
 金子孝之
 西尾政春
 粉川洋
 増野喜代教
 武田英雄
 大房正夫
 大橋浩明